

# 山形県の主な見どころ



**山居倉庫**

米どころ酒田のシンボル。築100年以上経った現在も、農業倉庫として活躍しています。



**致道博物館**

庄内の歴史的建造物を移築、考古・民俗資料を展示する博物館として公開しています。



**羽黒山五重塔**

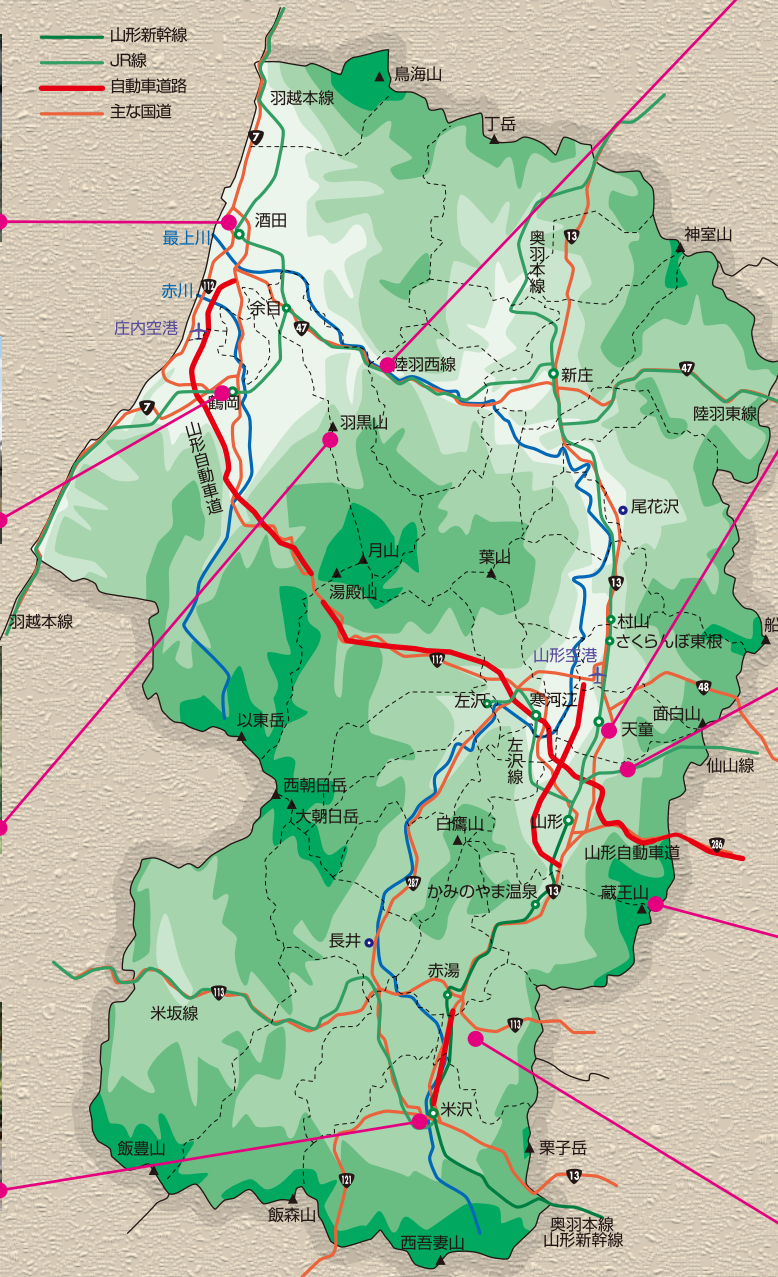
国宝。平将門が創建したと伝えられている東北最古の塔です。



**上杉神社**

米沢城址にあり上杉謙信を祀る神社。上杉まつり、上杉雪灯籠まつりの会場でもあります。

山形新幹線  
JR線  
自動車道路  
主な国道



**最上川舟下り**

船上から最上峡の景色を楽しめます。四季それぞれの趣の異なる絶景は見事です。



**宮城浩蔵先生胸像**

天童市・旧東村山郡役所資料館敷地内に2002年10月建立されました。



**山寺仁王門**

霊場に邪心が持ち込まれないよう、左右の仁王が睨みをきかせています。



**蔵王お釜**

蔵王のシンボル。日によって湖水の色が変化することから五色沼とも呼ばれます。



**亀岡文殊**

日本三文殊のひとつ。学問の神様として知られ、合格祈願に訪れる人があとを絶ちません。



## 明治大学創立者 宮城浩蔵 先生

1852(嘉永5)年山形県天童市に生まれ、幼少の頃から秀才の誉高く、藩校に入学。若くして教師となる。69(明治2)年、天童藩援助のもと大学南校(今の東京大学)・明法寮(後の司法省法学校)に入学。

「日本近代法の父」といわれるボアソナードからフランス法の指導を受け、その推薦により76(明治9)年フランスに官費留学。パリ大学・リオン大学で法律学・政治学を学び、オルトランの刑法学等を研究し、80(明治13)年帰国後すぐに岸本辰雄・矢代操とともに、「明治法律学校(現在の明治大学)」を設立し翌年開校、教頭に就

任。最初期においては、明治法律学校の教壇に立つ傍ら役所勤め・政府のさまざまな委員を務める。明治憲法のもとで、90(明治23)年、第一回の衆議院議員総選挙に山形一区から出馬し一位で当選。議員を務める傍ら代言人(今の弁護士)の事務所を構え、刑法学の権威として何冊も本を出版している。いわゆる「民法典論争」ではフランス風の民法施行を進める立場の急先鋒だったが、保守派に敗れた。

93(明治26)年2月腸チフスにおかされ急逝。40歳と10ヶ月の生涯だった。後に国際司法裁判所所長となる安達峰一郎をはじめ宮城浩蔵の影響を受けた人たちは少なくない。明治大学構内・天童市に胸像が建立されている。

## 第46回 明治大学全国校友山形大会

### 記念講演会

### 「今こそ、明治大学創立者 宮城浩蔵先生に学ぶ」

日時  
9月5日14時30分～

場所  
山形県県民会館

歴史家・作家  
加来耕三氏

